2018 年 4 月 1 日

マンツーマン推進の運用における変更点

【変更内容】

U12 および U15 カテゴリーの両方において適用する。

①「マンツーマン基準規則違反で「赤色（警告）」の旗が上げられた時は、コミッショナーが、違反対象となった攻防のボールのコントロールが変わった時およびボールがデッドになった時にゲームクロックを止めて、違反行為に対しての処置を行う。審判およびオフィシャルを行う児童・生徒が判断するものではなく、コミッショナーが判断して行う処置である。」

＜補足・運用の変更点＞

- コミッショナーは違反対象となった攻防のボールのコントロールが変わった時およびボールがデッドになった時に、速やかにホイッスル・ブザー等で審判に知らせてゲームを止める。オフィシャルはホイッスル・ブザー等と同時にゲームクロックを止める。ゲームを止めた後は、赤旗に関する処置を行う。
- これまで赤旗が掲げられた場合でもゲームが止まらず、赤旗が連続するケースやゲームが終了してしまうケースが見られた。この対応に対する処置である。
- ボールのチームコントロールが変わる時（ボールの保持が変わる時）、ボールがデッドになる時、および具体的対応を「マンツーマンコミッショナーの設置および競技会（試合）における運用について」に記載している。
- ショットクロックとの連動が必要なため、TO 席側にコミッショナーを配置すること。

②「スローイン時（サイド・エンド両方）においてのみ、スローインをするプレーヤーにマッチアップするディフェンス側プレーヤーが 1.5 メートル以内のマッチアップの距離制限を超えて制限区域内のオフボールプレーヤーをトラップすることは許される。」

＜補足＞

- この状況において、体の向き（スローインに正対・背中を向けるなど）を規定することはない。
- マッチアップエリア内の制限区域へのオフボールマンに対して、スローインにマッチアップするプレーヤーがオフボールマンにトラップしてよいことについて記載した。

【導入時期】

	2018 年度	備考
U15（中学）	完全実施	※全中大会の都道府県予選は都道府県中体連の裁量によって決定する。
U12（ミニ）	完全実施	––

以上